大垣市第２次教育振興基本計画　分野別振興計画

令和５年度実施状況報告書

令和６年９月

大垣市教育委員会

目　　次

１　大垣市第２次教育振興基本計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２　大垣市第２次教育振興基本計画の評価について ・・・・・・・・・・・・・・・ 4

３　大垣市第２次教育振興基本計画の分野別振興計画（令和5年度）の
評価について ・・・ 5

４　学校教育 ・・・ 11

５　社会教育 ・・・ 29

６　文化振興 ・・・ 41

７　図書館活用 ・・・ 59

８　スポーツ推進 ・・・ 70

９　大垣市教育委員会の活動状況について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82

１０　大垣市教育振興基本計画評価委員会の審議結果について ・・・・・ 84

1　大垣市第２次教育振興基本計画

⑴　趣旨

平成 22 年に策定した「大垣市教育振興基本方針」を改訂し、これからの 10 年を見据えた「大垣市第 2 次教育振興基本計画」を令和 2 年に策定しました。

「夢や目標の実現にむけて、学び挑戦できる人」の育成など、普遍的な教育の姿を大切にしながら、「多様性の受容」など時代の変化に合わせた教育も推進し、次代を拓くことができる人づくりを目指していきます。

⑵　期間

大垣市第 2 次教育振興基本計画の基本理念・基本方針の計画期間は、令和 2 年から 10 年間で、分野別振興計画の基本目標・基本施策の計画期間は、令和 2 年から 5 年間です。令和 5 年度は、分野別振興計画の 4 年目にあたります。

⑶　基本理念

みんなが学び交わり成長する　文教のまち大垣　～次代を拓く「人」づくり～

⑷　基本方針

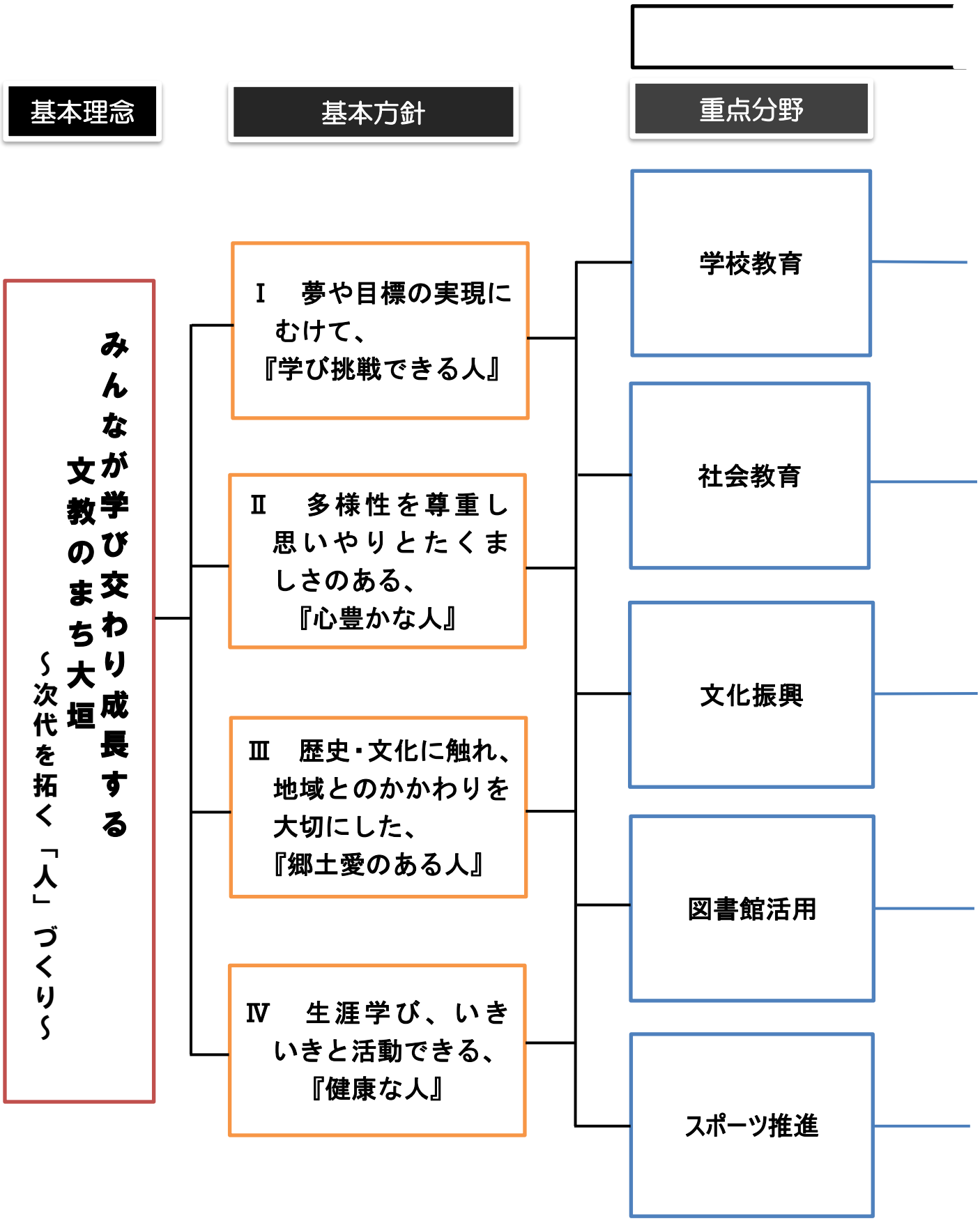
Ⅰ　夢や目標の実現にむけて、学び挑戦できる人

Ⅱ　多様性を尊重し思いやりとたくましさのある、心豊かな人

Ⅲ　歴史・文化に触れ、地域とのかかわりを大切にした、郷土愛のある人

Ⅳ　生涯学び、いきいきと活動できる、健康な人

⑹　施策の体系図


基本理念
基本方針
重点分野
みんなが学び交わり成長する
文教のまち大垣
～次代を拓く「人」づくり～
Ⅰ　夢や目標の実現にむけて、『学び挑戦できる人』
Ⅱ　多様性を尊重し思いやりとたくましさのある、『心豊かな人』
Ⅲ　歴史・文化に触れ、地域とのかかわりを大切にした、『郷土愛のある人』
Ⅳ　生涯学び、いきいきと活動できる、『健康な人』
学校教育
社会教育
文化振興
図書館活用
スポーツ推進

分野別振興計画

基本目標

１　主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します
２　多様な人々との協働を促し、思いやりの心をもち、共に支え合う子どもを育成します
３　グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します
４　豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します

１　地域づくりを推進し、学び挑戦できる人づくりをめざします
２　よさを認め尊重し合う活動を推進し、思いやりのある心豊かな人づくりをめざします
３　地域との絆づくりを大切にする活動を充実し、郷土に誇りをもって生きる人づくりをめざします
４　興味・関心に応じて学び合える環境を整備し、いきいきと活動できる人づくりをめざします

１　文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育む人づくりをめざします
２　文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします
３　郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りをもてる人づくりをめざします
４　文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします

１　読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします
２　図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします
３　郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
４　魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします

１　スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします
２　スポーツを通した交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします
３　地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
４　スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします

２　大垣市第２次教育振興基本計画の評価について

⑴　趣　　旨

本計画に基づき、着実に教育行政を推進するため、毎年、実施状況を評価するとともに、計画の進行管理を行います。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価をあわせて行います。

⑵　評価方法

①　基本計画の重点分野ごとに対応する指標及び目標値を設定し、目標値に対する実績の達成度で自己評価を実施します。

②　外部評価として大垣市教育振興基本計画評価委員会の意見を参考に施策ごとの総合評価を決定し、評価委員会での意見を今後の取り組みに活用します。

⑶　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条　　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2　　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

３　大垣市第２次教育振興基本計画の分野別振興計画（令和５年度）の評価について

⑴　分野別振興計画 総合評価一覧（令和５年度）

重点分野	A	B	C	D	ー(※)	計
学校教育	2	2	0	0	0	4
社会教育	2	1	1	0	0	4
文化振興	0	3	1	0	0	4
図書館活用	3	1	0	0	0	4
スポーツ推進	2	1	1	0	0	4
計	9	8	3	0	0	20

⑵　評価方法

自己評価	目標に対する実績の達成率でＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階で評価	
	Ａ：目標達成	Ｂ：達成率 80％以上
	Ｃ：達成率 70％以上	Ｄ：達成率 70％未満

総合評価	Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階で評価	
	Ａ：順調に達成している	Ｂ：概ね順調に達成している
	Ｃ：達成に向け課題がある	Ｄ：順調でない

※　評価不能について

令和２年度から令和４年度のうち新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、予定していた事業を実施できなかったことなどにより、適正な評価ができないものを評価不能としました。

３　分野別振興計画の評価について

重点分野

基本目標

指標

学校教育	自己評価	総合評価
①　主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します		
1　授業では友達と相談したり、話し合ったりする機会がある子どもの割合（%）	A	A
2　児童生徒のＩＣＴ活用を指導できる教員の割合（%）	A	
②　多様な人々との協働を促し、思いやりの心をもち、共に支え合う子どもを育成します		
1　自分から進んであいさつをしている子どもの割合（%）	A	B
2　いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合（%）	B	
③　グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します		
1　日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている子どもの割合（%）	A	A
2　ＧＴＥＣのA1 レベル相当以上の英語力を有する中学２年生の割合（%）	A	
④　豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します		
1　運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合（%）	B	B
2　１校あたりの地域人材を活用した人数（人）	A	

重点分野

基本目標

指標

社会教育	自己評価	総合評価
①　地域づくりを推進し、学び挑戦できる人づくりをめざします		
1　社会教育主事養成人数（人）	A	A
2　地域社会教育推進事業におけるＮＰＯ等との連携件数（件）	A	
②　よさを認め尊重し合う活動を推進し、思いやりのある心豊かな人づくりをめざします		
1　家庭教育支援スタッフの委嘱数（人）	A	A
2　「子ども会リーダースクール」及び「ジュニアリーダー育成研修」の参加人数（人）	A	
③　地域との絆づくりを大切にする活動を充実し、郷土に誇りをもって生きる人づくりをめざします		
1　「学校支援ボランティア」及び「大垣市教育支援人材バンク」の登録者延べ人数（人）	A	B
2　青少年健全育成研修会（ブロック研修会）の参加者数（人）	B	
④　興味・関心に応じて学び合える環境を整備し、いきいきと活動できる人づくりをめざします		
1　「スイトピア子どもクラブ」の受講者数（人）	B	C
2　地域で行う学習会や研修会への講師派遣回数（回）	D	

３　分野別振興計画の評価について

重点分野

基本目標

指標

文化振興	自己評価	総合評価
①　文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育むひとづくりをめざします		
1　子どもを対象とした事業数（件）	A	B
2　高校生以下の俳句投句数（句）	B	
②　文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします		
1　情報発信数（件）	A	B
2　伝統文化親子教室の実施団体数（団体）	B	
③　郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りを持てる人づくりをめざします		
1　歴史文化施設利用者数（人）	B	B
2　歴史文化施設での企画事業数（件）	A	
④　文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします		
1　市民団体との協働数（件）	B	C
2　文化芸術関係施設利用者数（人）	D	

重点分野

基本目標

指標

図書館活用	自己評価	総合評価
①　読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします		
1　貸出し冊数（冊）	A	A
2　児童書の貸出し冊数（冊）	A	
②　図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします		
1　図書館ホームページアクセス件数（件）	A	B
2　外国人利用登録者数（人）	B	
3　予約図書の配本冊数（冊）	B	
③　郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします		
1　ふるさと歴史講座参加者数（人）	A	A
2　郷土資料デジタルライブラリー閲覧件数（件）	A	
④　魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします		
1　図書館利用目的達成度（%）	A	A
2　生活関連資料の貸出し冊数（冊）	A	

３　分野別振興計画の評価について

重点分野

基本目標

指標

スポーツ推進	自己評価	総合評価
①　スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします		
1　小中学生スポーツ活動実施率（%）	A	A
2　全国・国際大会等への出場者数（件）	A	
②　スポーツを通した交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします		
1　日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数（人）	A	A
2　県民スポーツ大会での総合優勝の継続（位）	A	
③　地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします		
1　コミュニティスポーツ参加者数（人）	D	C
2　意識的に運動（週１回以上）している人の割合（%）	A	
④　スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします		
1　スポーツ教室への参加者数（人）	B	B
2　体育施設の利用者数（学校体育施設を含む）（人）	B	

４　学校教育

基本目標１	主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します

１　令和５年度事業計画

基本施策１　各学校における学力向上

事　　業	計　　画	実　　績	
1　学力向上推進事業	学力向上のための指導改善	・学力向上推進委員会（3 回） ・水都っ子チャレンジ事業（32 校）	
2　研究指定校事業	小学校教育における課題の研究及び実践	・学力向上（日新小、荒崎小） ・プログラミング（静里小） ・働き方改革（小野小） ・情報モラル（江東小） ・小学校英語教育（中川小）	新規
	中学校教育における課題の研究及び実践	・情報モラル教育（東中） ・学力向上（星和中）	新規

基本施策２　一人ひとりの学習状況に応じた学力向上の体制づくり

事　　業	計　　画	実　　績	
1　水都っ子学習支援事業	小学校 1、4 年生及び 5、6 年生の 30 人以上の学級へ学習指導補助講師を配置	・1、4 年生（16 人） ・5、6 年生（17 人）	

2　小規模校学習支援事業	複式学級が２学級以上になる学校に学習指導補助講師を配置	一之瀬小、時小 （各１人）	
3　人件費 （ＧＩＧＡスクール支援員事業）	小・中学校のタブレット端末を活用した授業づくりのための授業支援や研修等の実施	ＧＩＧＡスクール支援員 （2 人、192 回訪問支援）	
4　プログラミング教育推進事業	小・中学校の教科等におけるマイコンボード教材等を活用した授業の実施	・中学校技術：マイコンボード教材の活用 ・小学校：マイコンボード・ロボット教材、ＬＩＮＥ　ｅｎｔｒｙの活用 ・プログラミング教育支援員 13 人	
5　発展・体験学習推進事業	授業内容をより発展させた参加体験型学習会の開催支援	・芭蕉はかせくんパネルコンクール （小 5～中 3：47 人） ・わくわく算数アドベンチャー(3 回) （小 5、6 年生：117 人）	
	小学校におけるエネルギー教育・環境教育の推進	・エネルギー教育備品の整備	

基本施策３　保幼小連携・小中連携による学力向上の推進

事　　業	計　　画	実　　績	
1　水都っ子学習支援事業（再掲）	小学校 1、4 年生及び 5、6 年生の 30 人以上の学級へ学習指導補助講師を配置	・1、4 年生（16 人） ・5、6 年生（17 人）	
2　知能検査事業	入学前の子ども及び小学校 2、6 年生を対象とした知能検査の実施	・入学前（1,259 人） ・2 年生　（1,302 人） ・6 年生　（1,400 人）	

基本施策４　教員の指導力・資質向上

事　　業	計　　画	実　　績
1　教職員指導力向上研修事業	児童生徒理解についての研修	だれもが研修（16 校）
2　教育振興一般経費	大垣市文教協会が実施する教職員研修への補助	・小学校教員英語指導力向上研修(19 人)

２　指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　授業では友達と相談したり、話し合ったりする機会がある子どもの割合（%）	目標	基準	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0
	実績	82.9	93.9	95.6	96.0	97.4	
	自己評価		A	A	A	A	
2　児童生徒のＩＣＴ活用を指導できる教員の割合（%）	目標	基準	68.8	70.1	71.4	72.7	74.0
	実績	66.2	61.1	77.8	80.5	82.4	
	自己評価		B	A	A	A	
総合評価			B	A	A	A	

自己評価	A:目標達成　B:達成率80%以上　C:達成率70%以上　D:達成率70%未満
総合評価	A：順調に達成している　　B：概ね順調に達成している C：達成に向け課題がある　　D：順調でない

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　授業では友達と相談したり、話し合ったりする機会がある子どもの割合（%）	各校が作成した学力向上指導改善プランに基づく授業改善について教職員の意識が高まってきたこと等により 1.4 ポイント上昇した。

指　　標	考　　察
2　児童生徒のＩＣＴ活用を指導できる教員の割合（%）	ＩＣＴ支援訪問を継続したことや、各校において効果的な活用について実践例が広まったこと等により 1.9 ポイント上昇した。

基本目標２	多様な人々との協働を促し、思いやりの心をもち、共に支え合う子どもを育成します

１　令和５年度事業計画

基本施策１　豊かな心の育成

事　　業	計　　画	実　　績	
1　学校人権同和教育教員研修活動事業	教職員に対する人権・同和教育を実施	・全国研究大会（1人） ・研究全国集会（1人） ・部落解放講座（6人）	
2　文化活動事業	学習成果を発表するための各種作品展等を実施	・造形展（1,209点） ・科学作品展（221点） ・文科系部活動実技指導者（10人）	
3　中学校鹿児島市交流事業	鹿児島市との中学生相互派遣交流	交流実施 （大垣市生徒13人）	
4　中学校部活動地域移行推進事業	中学校部活動の地域移行構想の策定 ・構想策定委員会の開催 ・ワークショップ開催等	・検討委員会(3回) ・ワークショップ 運動部　14団体 文化部　3団体	新規

基本施策２　いじめや問題行動、不登校への対応の充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　いじめ防止等対策事業	生徒指導上の諸問題を抱える学校へのサポート	いじめ等スクールサポーターによる訪問相談（22回）	
	学級生活満足度、学校生活意欲、対人関係能力の状況を把握する学級集団状況調査「ＷＥＢ　ＱＵ」の実施	学級集団状況調査「ＷＥＢ　ＱＵ」の実施（2回） （対象：小4～6年、中1、2年）	

2　ほほえみ相談員設置　推進事業	いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期対応のため、ほほえみ相談員を配置	・小学校（14 人） ・中学校（10 人）	拡充
3　教育相談員等派遣事業	不登校・不登校傾向の児童生徒やその保護者及び学校の相談対応	・専門医相（2 件） ・臨床心理士派遣（30 回） ・学習支援員派遣（42 回 ）	
4　ほほえみ教室事業	ほほえみ教室（適応指導教室）において、心理的要因で不登校に陥っている児童生徒の集団適応力を培うための支援・援助	ほほえみ教室（37 人）	拡充
5　事務局一般経費（スクールロイヤー事業）	問題が深刻化する前に適切に対応できるよう、学校がスクールロイヤーに相談できる体制を整備	・アドバイザー業務（41 件） ・面談業務（1 件）	
6　人件費（生徒指導相談員事業）	学校内や家庭訪問による児童生徒の学習支援、保護者との相談を実施するため生徒指導相談員を配置	・生徒指導相談員（5 人） ・児童生徒支援（1,261 回） ・児童生徒の状況の聴取（145 回）	

基本施策３　「共生社会」の実現をめざす教育の推進

事　業	計　画	実　績	
1　特別支援教育サポート事業	特別支援学級への介助員及び通常学級への支援員の配置	・介助員（27人） ・支援員（40人）	拡充

	2　医療的ケア児就学支援事業	小中学校に在籍する医療的ケア児に対して、適切な支援を行うための体制を整備	・対象児童（2人）	拡充
	3　中学校鹿児島市交流事業（再掲）	市と鹿児島市の中学生の相互派遣交流	交流実施 （大垣市生徒13人）	
	4　知能検査事業（再掲）	入学前の子ども及び小学校2、6年生を対象とした知能検査の実施	・入学前（1,259人） ・2年生　（1,302人） ・6年生　（1,400人）	
	5　特別支援教育推進事業	個々の障がいの実態を把握し、発達や特性に応じた適正な就学支援を推進	・個別知能検査（187件） ・協議会等（7回） ・就学のための教育相談（200件）	
	6　多文化共生教育推進事業	日本語指導等が必要な児童生徒に対する支援	・初期指導教室（指導員4人、通訳6人） ・日本語教室（通訳10人） ・音声翻訳機（15台）	拡充

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　自分から進んであいさつをしている子どもの割合（%）	目標	基準	87.4	88.0	88.6	89.2	90.0
	実績	86.2	89.0	85.6	86.2	90.0	
	自己評価		A	B	B	A	
2　いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合（%）	目標	基準	97.7	98.2	98.7	99.2	100.0
	実績	96.7	98.3	96.6	97.5	98.1	
	自己評価		A	B	B	B	
総合評価			A	B	B	B	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　自分から進んであいさつをしている子どもの割合（%）	コロナ禍の規制が緩和されたことにより また、各学校の挨拶運動の取り組みの結果、3.8 ポイント上昇した。
2　いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合（%）	自他を大切にし、豊かな人間関係が築けるように、発達の段階に応じた道徳教育や情報モラル教育の充実を図るとともに、人権・同和教育を確実に実施していく。 また、特別活動において、児童生徒がよりよい自分や学級・学校生活、人間関係をつくる活動を充実させ、子どもたちがお互いを尊重し、認め合う学級・学校づくりに取り組む。

基本目標３	グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します

１　令和５年度事業計画

基本施策１　「ふるさと大垣科」の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　ふるさと大垣科推進事業	ふるさと大垣の自然、歴史、文化を知り、誇りや愛着をもつ児童生徒を育てる「ふるさと大垣科」の実施	・地域見学(22小学校) ・俳句講師派遣（77回）

基本施策２　情報教育の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　プログラミング教育推進事業（再掲）	小・中学校の教科等におけるマイコンボード教材等を活用した授業の実施	・中学校技術：マイコンボード教材の活用 ・小学校：マイコンボード・ロボット教材、ＬＩＮＥ ｅｎｔｒｙの活用 ・プログラミング教育支援員 13 人

基本施策３　英語教育の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　小学校英語科推進事業	小学校における英語指導体制の充実	・ＡＬＴ派遣（3人） ・英語地域人材講師(27人)
2　中学校英語指導助手派遣事業	中学校における英語指導体制の充実	・ＡＬＴ派遣（7人） ・ＡＬＴによるパフォーマンステスト実施（10校）

	3　小中学校英語教育構想推進事業	英語教育向上プロジェクト	・ＧＴＥＣ実施（中学校2年生　1,187人） ・Speaking Quest（小学校6年生　実施回数3回）	

基本施策４　国際理解教育の推進

事　　業	計　　画	実　　績	
1　小学校英語科推進事業（再掲）	小学校における英語指導体制の充実	・ＡＬＴ派遣（3人） ・英語地域人材講師（27人）	
2　中学校英語指導助手派遣事業（再掲）	中学校における英語指導体制の充実	・ＡＬＴ派遣（7人） ・ＡＬＴによるパフォーマンステスト実施（10校）	
3　小中学校英語教育構想推進事業（再掲）	英語教育向上プロジェクト	・ＧＴＥＣ実施（中学校2年生 1,187人） ・Speaking Quest（小学校6年生　実施回数3回）	
4　多文化共生教育推進事業（再掲）	日本語指導等が必要な児童生徒に対する支援	・初期指導教室（指導員4人、通訳6人） ・日本語教室（通訳10人） ・音声翻訳機（15台）	拡充

２　指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている子どもの割合（%）	目標	基準	36.0	39.0	42.0	45.0	48.0
	実績	30.0	23.6	34.4	34.5	45.3	
	自己評価		－	B	B	A	

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
2　ＧＴＥＣのＡ1レベル相当以上の英語力を有する中学2年生の割合（%）	目標	－	－	－	基準	55.0	57.0
	実績	－	－	－	87.0	83.0	
	自己評価		－	－	－	Ａ	
総合評価			－	－	－	Ａ	

※令和４年度ＧＴＥＣの全国平均（中学２年生）49.2%を基準に、R5、R6 の目標値を設定

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている子どもの割合（%）	オンライン異文化コミュニケーションにより、海外の子どもに大垣のよさを伝える活動を実施した結果、10.8 ポイント上昇した。
2　ＧＴＥＣのＡ1 レベル相当以上の英語力を有する中学２年生の割合（%）	「大垣市小中学校英語教育構想」に基づき、英語教育に取り組んだ結果、全国平均(※) 50.0 ポイントと比較し、昨年度同様に良好な結果を維持している。

※文部科学省実施　令和５年度「英語教育実施状況調査」の結果より。

参考　令和５年度から「指標 2」を変更

これまでは、自主的な受験であったのに対し、令和４年度からは、市予算（英語教育構想推進事業）により、中学２年生全員が英語外部試験（ＧＴＥＣ）を受験することとなり、全員の結果を把握できるようになったため。

【R4 までの指標】

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
2　ＣＥＦＲ※のＡ1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（%）	目標	基準	24.2	26.3	28.4	30.5	33.0
	実績	20.0	26.1	22.9	20.3	－	－
	自己評価		Ａ	Ｂ	Ｃ	－	－

※　ＣＥＦＲ（セファール）：外国語のコミュニケーション能力を表す指標のことで、国際標準規格。ＣＥＦＲのＡ1 レベルは、英検 3 級相当。

基本目標４	豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します

１　令和５年度事業計画

基本施策１　健やかな体の育成

事　　業	計　　画	実　　績	
1　小中学校体育振興事業	体力技能向上にかかる大会への支援	小学校体育振興会、中学校体育連盟への補助	
2　中学校体育系部活動事業	中学校体育系部活動への支援	・中学校体育系部活動指導者（110人） ・中学校運動部強化事業補助（8部活） ・全国大会等出場への補助（13校）	
3　教育保健一般経費	学校保健会への補助	学校保健会への補助	
4　学校保健安全事業	学校医等への報酬及び災害共済の加入	・学校医等への報酬 ・災害共済の加入	
5　就学援助医療扶助事業	要保護及び準要保護生徒の医療扶助	実績なし	
6　学校健康診断事業	児童生徒及び教職員の健康診断の実施	児童生徒及び教職員の健康診断の実施	
7　学校環境衛生事業	小中学校における環境衛生検査の実施	小中学校における環境衛生検査の実施	
	保健室における相談体制の充実	・生理用品等の配布 ・保健室なんでも相談ＢＯＸの設置	
8　学校給食センター管理事業	小中学校及び幼稚園への安心・安全で魅力ある給食の提供	給食器具等の整備、食中毒防止対策等の実施 ・南部：コンテナキャスター修理　ほか ・北部：ディスポーザー修理　ほか	

		・上石津：空調、消毒 手洗器修理　ほか	
	学校給食への興味・関心の醸成 ・学校給食に関する展示の実施	「全国学校給食週間」に合わせた「学校給食のあゆみ」や「大垣市の学校給食」パネル展の開催	
9　学校給食センター運搬事業	小中学校及び幼稚園への給食の配送及び回収	給食の配達・回収 ・小学校：22 校 ・中学校：10 校 ・幼稚園：　4 園	
10　南部学校給食センター整備事業	ＰＦＩ手法を用いて建設した南部学校給食センターの公有財産の購入	南部学校給食センターの建物購入費支出	
11　上石津義務教育学校給食配送準備事業	上石津義務教育学校への給食提供に向けた準備	南部学校給食センターから上石津学園に給食を配送するための備品調達 ・コンテナー、食缶、食器ほか	臨時
12　中学校部活動地域移行推進事業（再掲）	中学校部活動の地域移行構想の策定	・検討委員会(3 回) ・ワークショップ 運動部　14 団体 文化部　3 団体	新規

基本施策２　多様なニーズに応じた教育支援体制の充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　多文化共生教育推進事業（再掲）	日本語指導等が必要な児童生徒に対する支援	・初期指導教室(指導員4人、通訳6人) ・日本語教室 (通訳10人) ・音声翻訳機（15台）	拡充
2　知能検査事業（再掲）	入学前の子ども及び小学校2、6年生を対象とした知能検査の実施	・入学前（1,259人） ・2年生　（1,302人） ・6年生　（1,400人）	

3　特別支援教育推進事業（再掲）	個々の障がいの実態を把握し、発達や特性に応じた適正な就学支援を推進	・個別知能検査（187件） ・協議会等（7回） ・就学のための教育相談（200件）	
4　特別支援教育サポート事業（再掲）	特別支援学級への介助員及び通常学級への支援員の配置	・介助員（27人） ・支援員（40人）	拡充
5　医療的ケア児就学支援事業（再掲）	小中学校に在籍する医療的ケア児に対して、適切な支援を行うための実施体制の整備	・対象児童（2人）	拡充
6　就学援助事業	小中学校に通う子どもの保護者に給食費や学用品費等の一部を助成	対象児童生徒数 ・小学校：学用品費647人、給食費640人 ・中学校：学用品費407人、給食費402人	
7　特別支援教育奨励事業	小中学校の特別支援学級に通う子どもの保護者に、給食費や学用品費等の一部を助成	対象児童生徒数 ・小学校：学用品費169人、給食費230人、通学費10人 ・中学校：学用品費61人、給食費80人、通学費5人	

基本施策３　危機管理体制の充実

事　業	計　画	実　績	
1　学校営繕事業	小中学校における安全・防犯対策の充実	防犯カメラ更新工事、フェンス設置工事ほか	
2　学校保健安全事業（再掲）	学校医等への報酬及び災害共済の加入	・学校医等への報酬 ・災害共済の加入	

3　教育振興一般経費	防災教育の推進 ・専門家による防災教育の実施	防災教育講演　2校	

基本施策４　学校環境の整備

事　　業	計　　画	実　　績	
1　学校一般経費	小中学校における一般備品の購入	小中学校の一般備品の購入	
2　学校施設維持管理事業	小中学校における施設維持管理	消防設備保守点検ほか	
3　スクールバス運行事業	上石津地域の小中学校の登下校バス運行	・小学校（7人） ・中学校（97人）	
4　学校営繕事業	小中学校における施設営繕	・赤坂小屋上防水改修工事 ・興文中バックネット更新工事	臨時 臨時
5　学校情報化機器整備管理事業	タブレット端末の保守及び教職員用パソコンの整備	・タブレット端末の保守 ・教職員用パソコンの更新	
6　学校教材整備事業	小中学校における各種教材備品等の整備	小中学校における各種教材備品等の整備	
7　教育情報ネットワーク事業	教育情報ネットワークシステム（ＯＰＥＮ）、学校間のネットワークシステム等の運用管理	ＯＰＥＮアクセス数（381,228回）	
8　学校保健安全事業（再掲）	学校医等への報酬及び災害共済の加入	・学校医等への報酬 ・災害共済の加入	
9　中学校外壁改修事業	中学校における外壁改修 ・星和中学校（校舎北面　ほか）	星和中校舎北面外壁改修工事	臨時
10　小中学校グラウンド改修事業	小中学校におけるグラウンド改修	・小野小グラウンド改修工事	臨時

	・小野小学校、東中学校、江並中学校	・東中グラウンド改修工事 ・江並中グラウンド改修工事	臨時 臨時
11　江東小学校屋内運動場改築事業	江東小学校における屋内運動場の改築工事	江東小屋内運動場改築工事	臨時
12　綾里小学校屋内運動場改築事業	綾里小学校における屋内運動場の改築設計	綾里小屋内運動場の改築設計委託	臨時
13　上石津義務教育学校整備事業	「上石津学園」の開校に向けた上石津中学校の施設改修 ・北舎内装改修　ほか	上石津義務教育学校整備工事（校舎改修、教材備品等購入ほか）	臨時
14　新型コロナウイルス感染症予防事業	小中学校における新型コロナウイルス感染症対策等に必要となる保健衛生用品等の購入	空気清浄機ほか	

基本施策５　学校・家庭・地域の協働による教育の推進

事　業	計　画	実　績	
1　特色ある学校づくり事業	各小中学校の特色を生かしながら、地域と学校が一体となって取り組む学校づくりの推進	・小学校（22校） ・中学校（10校）	
2　中学校部活動地域移行推進事業（再掲）	中学校部活動の地域移行構想の策定	・検討委員会(3回) ・ワークショップ 運動部　14団体 文化部　3団体	新規

基本施策６　教員の働きやすい環境づくり

事　業	計　画	実　績	
1　教育振興一般経費	教職員の業務改善の推進	・新しい学校の在り方検討委員会(3回) ・保護者連絡システムの活用(32校)	

			・中学校採点業務システムの導入(10校)	
	2　教育情報ネットワーク事業（再掲）	教育情報ネットワークシステム（ＯＰＥＮ）、学校間のネットワークシステム等の運用管理	ＯＰＥＮアクセス数（381,228回）	
	3　事務局一般経費（再掲）（スクールロイヤー事業）	問題が深刻化する前に適切に対応できるよう、学校がスクールロイヤーに相談できる体制を整備	・アドバイザー業務（41件） ・面談業務（1件）	

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合（%）	目標	基準	57.8	58.4	59.0	59.6	60.1
	実績	56.6	54.7	52.3	53.3	56.2	
	自己評価		B	B	B	B	
2　1校あたりの地域人材を活用した人数（人）	目標	基準	134	146	158	170	180
	実績	110	83	123	165	201	
	自己評価		－	B	A	A	
総合評価			－	B	B	B	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合（%）	コロナ禍からの規制緩和が進み、子どもたちが運動する機会が増えたこと等により、2.9ポイント上昇した。今後も体育の時間に運動の楽しさを味わえる工夫や休み時間の外遊びの推奨など体を動かすことの楽しさを実感できることを重点として体力向上に取組む。
2　1校あたりの地域人材を活用した人数（人）	コロナ禍からの規制緩和が進み、学校活動等に地域人材が参加できるようになって、学校ボランティアが積極的に活動に取り組んだ結果、増加した。

５　社会教育

基本目標１	地域づくりを推進し、学び挑戦できる人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　社会教育を推進する人材の養成

事　　業	計　　画	実　　績
1　社会教育総務一般経費	社会教育主事の計画的な養成	社会教育主事講習の受講（1人）
2　社会教育委員事業	社会教育委員の調査研究の機会の充実	岐阜県社会教育推進大会（8人）
3　社会教育推進員事業	社会教育推進員の研修の機会の充実	学校支援コーディネーターとの合同研修会ほか（21人）
4　青少年育成推進員事業	青少年育成推進員への研修の実施及び研修機会の提供	・情報セキュリティすごろく体験研修会　ほか（17人） ・西濃地区社会教育振興会議・西濃地区青少年育成関係者圏域研修会　ほか（14人）
5　青年の家管理事業 （指定管理者指定事業）	青少年のリーダーを養成する講座、講習会を実施	・青少年ボランティアリーダー養成講座（3回、80人） ・普通救命、赤十字救急法基礎講習会（2回、28人） ・モルック指導員・審判員講習会（2回、29人）

基本施策２　地域づくりにむけた社会教育活動の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　地域教育力向上事業	地域づくり推進施設を拠点にしたエリア型地域づくりの推進	・地域社会教育推進協議会への支援（63事業） ・ＮＰＯ、高等教育機関、企業等との連携（13件） ・ＳＤＧｓをテーマとする社会教育講座への講師派遣（1回）

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　社会教育主事養成人数（人） ※目標値及び実績値は、毎年度の累計値です。	目標	基準	5	6	7	8	9
	実績	3	5	6	7	8	
	自己評価		Ａ	Ａ	Ａ	Ａ	
2　地域社会教育推進事業におけるＮＰＯ等との連携件数（件）	目標	基準	7	8	9	10	12
	実績	6	3	7	11	13	
	自己評価		－	－	Ａ	Ａ	
総合評価			－	－	Ａ	Ａ	

自己評価	A:目標達成　B:達成率80％以上　C:達成率70％以上　D:達成率70％未満
総合評価	A：順調に達成している　　B：概ね順調に達成している C：達成に向け課題がある　　D：順調でない

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　社会教育主事養成人数（人）	予定通り職員１人が講習を受講し修了したため、目標人数を達成した。
2　地域社会教育推進事業におけるＮＰＯ等との連携件数（件）	コロナ対策で、縮小されていた社会教育推進事業が再開し、企業や団体などとの連携も少しずつ増えてきている。 引き続き、事業推進のため支援を行っていく。

基本目標２	よさを認め尊重し合う活動を推進し、思いやりのある心豊かな人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　家庭教育の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　家庭教育支援事業	家庭教育の在り方を学ぶ機会や子育ての悩みを相談できる場・親同士が語り合える場の提供	・就学時健診等の機会を利用した子育て講座（21校） ・思春期子育て講座（9校） ・企業内家庭教育学級への支援（2企業） ・家庭教育相談室における相談（20件） ・家庭教育支援スタッフ養成講座（9回、29人） ・就学児家庭支援サロン（21回） （通常サロン7回 土曜サロン8回 夏休みサロン6回） ・家庭教育推進団体企画事業（4件） ・家庭教育学級事業への補助（44学級） ・家庭教育学級研修会（2回） ・家庭教育講演会（1回）

基本施策２　多様性を尊重した学習機会の充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　スイトピア子どもクラブ事業	スイトピアセンター等で小学生の興味に応じた科学・工作・美術などの体験講座の開催	スイトピア子どもクラブ（発明1ほか11クラブ）	拡充
2　若森会館管理事業	若森会館における学習講座の開催	・前期　8講座 ・後期　8講座	拡充 拡充
3　若森会館営繕事業	若森会館の営繕	洋便器漏れ修繕工事	
4　人権教育促進事業	人権教育・人権啓発に関する施策の実施	・人権作文集作成（800部） ・人権心のふれあい講座（4回） ・人権・同和問題をみんなで考える学習会（1回） ・人権・同和教育講演会（1回） ・人権啓発講演会（1回）	

基本施策３　青少年の主体的な活動の推進

事　　業	計　　画	実　　績	
1　少年の船派遣事業	洋上での集団生活やフレンドリーシティ鹿児島市の児童との交流による少年リーダーの育成	少年の船派遣事業（30人）	
2　少年リーダー育成事業	少年リーダーを育成するために活動する少年団体への支援	・ジュニアリーダーズクラブ事業への補助 ・ボーイスカウト事業への補助	

	3　青年の家管理事業 （指定管理者指定事業）	青少年が自主的に活動する機会の提供	・子ども会リーダースクール（3回、105人） ・ジュニアリーダー育成研修会（3回、74人） ・ちびっこワイワイキャンプ（3回、104人） ・子どもクッキング教室（6回、98人） ・夏休みキッズスクール（2回、65人）	

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　家庭教育支援スタッフの委嘱数（人）	目標	基準	16	18	20	22	24
	実績	14	21	19	23	25	
	自己評価		A	A	A	A	
2　「子ども会リーダースクール」及び「ジュニアリーダー育成研修」の参加人数（人）	目標	基準	160	163	165	167	170
	実績	157	中止	48	105	179	
	自己評価		－	－	－	A	
総合評価			－	－	－	A	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　家庭教育支援スタッフの委嘱数（人）	スタッフの養成講座やスキルアップ講座を開催し、実施回数を増やして人材の育成・定着に努め、前年より２人増加した。
2　「子ども会リーダースクール」及び「ジュニアリーダー育成研修」の参加人数（人）	大垣市レクリエーション協会、大垣市子ども会育成連絡協議会と連携し、周知に努めたことにより、リーダースクールの参加人数が増加し、目標を達成することができた。

基本目標３	地域との絆づくりを大切にする活動を充実し、郷土に誇りをもって生きる人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　歴史・文化に触れる社会教育の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　地域教育力向上事業	地域の歴史や文化に触れる講座等の実施を推進	地域社会教育推進協議会への支援（24件）
2　大垣まるごと土曜学園事業	地域ぐるみで土曜日の子どもの活動場所を提供する地域団体に対する支援	・放課後週末読書等活動事業への補助（17団体） ・地域子ども活動支援事業への補助（12団体）

基本施策２　地域と学校の協働活動の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　地域教育力向上事業	小中学校に学校支援コーディネーターを配置し、学校支援ボランティア事業を実施	・コーディネーター配置（32校） ・学校支援ボランティア登録者（1,305人）
	大垣市教育支援人材バンクの整備と活用の推進	・教育支援人材バンク登録者（103人）
	小学校の休業日に地域住民が主体となり、児童の学習習慣及び基礎学力を向上させる事業の推進	・地域家庭学習支援事業への補助（4校）

基本施策３　地域における青少年健全育成の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　青少年育成推進員事業	青少年育成推進員による青少年健全育成の推進	・青少年育成関係者ブロック研修会（15校区、1,692人） ・わが家のふれあいアルバム（応募3,254点）
2　明るい青少年都市市民会議事業	「大垣市明るい青少年都市宣言」に基づき、青少年の健全育成を図るための活動を実施	・明るい青少年都市市民会議大会（212人） ・書店等への立入調査（3回、2人） ・地域のおじさん・おばさん運動（6,696人） ・家庭の日推進ふれあい清掃活動 ・大垣市明るい青少年都市市民会議合同会議研修会（86人）
3　子ども会育成事業	子ども会育成連絡協議会の活動に対する支援	大垣市子ども会育成連絡協議会、各校区子ども会への補助

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　「学校支援ボランティア」及び「大垣市教育支援人材バンク」の登録者延べ人数（人）	目標	基準	1,047	1,102	1,157	1,212	1,270
	実績	982	1,274	1,287	1,342	1,408	
	自己評価		A	A	A	A	

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5(※)	R6
2　青少年健全育成研修会（ブロック研修会）の参加者数（人）	目標	基準	2,389	2,428	2,466	1,707 (2,504)	2,540
	実績	2,311	175	226	318	1,692	
	自己評価		－	－	－	B	
総合評価			－	－	－	B	

※　新型コロナウイルス感染症の影響で、研修会の中止を決定した校区（7 校区）があったため、目標値を実施校区数（15 校区）で補正した。
（）は補正前の目標値を示す。

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　「学校支援ボランティア」及び「大垣市教育支援人材バンク」の登録者延べ人数（人）	広報紙への募集記事の掲載や、学校支援コーディネーターの会などでの呼びかけを行い、登録者数の増加につながった。
2　青少年健全育成研修会（ブロック研修会）の参加者数（人）	新型コロナウイルス感染症の 5 類移行前である前年度末に計画した校区が多いため、令和 5 年度の実施は少なかった。 （15／22 校区） 令和 6 年度は、コロナ禍前の状況に戻しつつ、開催方法を変更し実施予定である。

基本目標４	興味・関心に応じて学び合える環境を整備し、いきいきと活動できる人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　生涯学習機会の充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　スイトピア子どもクラブ事業（再掲）	スイトピアセンター等で小学生の興味に応じた科学・工作・美術などの体験講座の開催	スイトピア子どもクラブ（発明1ほか11クラブ）	拡充
2　上石津地域公民館管理事業	地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る公民館での各種講座の開催	料理教室ほか（21講座）	
3　青年の家管理事業 （指定管理者指定事業）	青少年教育施設の管理運営	青年の家の管理運営（利用者数：95,593人）	
4　青年の家営繕事業	青少年教育施設の営繕	研修棟南面窓枠シール改修工事ほか	
5　青墓町多目的広場管理事業	青少年教育施設の管理運営	青墓町多目的広場の管理運営（利用者数：8,160人）	
6　青少年憩いの森管理事業	青少年憩いの森遊歩道の管理運営	支障木伐採工事（7か所） ・憩いの森遊歩道朝長ルート整備	

基本施策２　関係機関との連携

事　　業	計　　画	実　　績	
1　地域教育力向上事業	地域で行われる学習会や研修会等への市民講師の派遣	講師派遣（1回）	

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　「スイトピア子どもクラブ」の受講者数（人）	目標	基準	272	279	286	293	300
	実績	265	中止	中止	139	234	
	自己評価		－	－	－	B	
2　地域で行う学習会や研修会への講師派遣回数（回）	目標	基準	2	4	6	8	10
	実績	0	0	1	1	1	
	自己評価		－	－	－	D	
総合評価			－	－	－	C	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　「スイトピア子どもクラブ」の受講者数（人）	令和５年度は、コロナ禍前の規模に戻して開催したが、想定よりも応募者数が少なかった。 今後も、内容の充実や広報等での周知に努める。
2　地域で行う学習会や研修会への講師派遣回数（回）	コロナ禍後に、多くの地区で学習会等の開催が再開されたものの、意識の変化や担い手不足などの課題もあって、開催数自体が伸び悩んでおり、講師を派遣する機会も少なかった。 今後も、市民講師の周知を図りつつ、ニーズの把握に努める。

６　文化振興

基本目標１	文化芸術活動を充実し、豊かな創造力を育むひとづくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　文化芸術等に触れる機会の充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　芸術文化振興事業	子どもたちが気軽に文化芸術に親しめるステージ事業等の実施	・地域芸術家の学校アウトリーチ（市内小・中学校3校、1,729人）	新規
2　トップレベルのアートフェス事業 （指定管理者指定事業）	トップレベルの文化芸術に触れる機会を提供する事業の実施	・プライムコンサート「辻彩奈ヴァイオリンコンサート」（428人） ・こんにゃく座オペラ「ルドルフとイッパイアッテナ」(318人） ・野村萬斎　狂言公演（566人） ・秋季企画展「土屋禮一展」（1,432人）	新規 新規
3　子育て日本一タイアップ事業 （指定管理者指定事業）	子育て世代を対象とした鑑賞・体験事業の実施	・ファミリーコンサート「ワンワンとあそぼうショー」（1,131人） ・アキラボーイとタヌキチくんのデジタルショー（238人）	

	・春季企画展「ハローキティのワンダーランド」（3,458人） ・夏季企画展「ウルトラ空想特撮ワールド」（15,690人）	新規
4　俳句文化振興事業 （俳句探究事業）	子どもが俳句づくりに触れる事業の実施	・ふるさと魅力体験（小学校22校） ・ふるさと大垣句集の作成（小学校7,190句、中学校3,380句）	
5　水都っ子こころの劇場鑑賞事業	演劇鑑賞事業の実施	・市内小学校5年生・引率教員鑑賞（1,414人）	
6　守屋多々志美術館自主事業	守屋多々志美術館における企画展等の開催	・企画展（5回、4,772人）	

基本施策２　文化芸術等を学ぶ機会の充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　芸術文化振興事業 （芸術探究事業）	次世代の文化芸術の人材育成につながる体験事業等の実施	・大垣市芸術祭 洋楽（232人） 洋舞（969人） 邦楽・邦舞（350人） 拓本展（82人） 名石展（200人） 市民茶会（237人） 美術展（11,418点） 文芸祭（1,776点）	
2　次世代のクリエーター育成事業 （指定管理者指定事業）	次世代人材を育成するための体験教室等の実施	・プラネタライブ（1回、131人） ・おもしろ科学教室（12回、278人）	

			・市民天体教室 （78回、1,709人） ・科学大好きセミナー（6回、234人） ・わくわく科学体験事業　化石発掘体験 （16日間、1,085人） ・パブリックスペース活用事業　小さな化石展 （26,561人）	新規 新規
	3　子育て日本一タイアップ事業 （指定管理者指定事業）	次世代人材を育成するためのワークショップ事業の実施	・音楽ワークショップ「ピアノを解体してみよう　調律体験」（17組、38人） ・舞台ワークショップ「バックステージツアー」（3回、31人）	
	4　俳句文化振興事業 （俳句探究事業）	子どもが俳句づくりの楽しさを学ぶ事業の実施	・こども俳句教室 （4回、13人） ・おおがき句会ライブ教員向け （131人） ・おおがき句会ライブ学校向け （安井小、南小）	
	5　守屋多々志美術館自主事業	守屋多々志美術館における企画展の開催及び講座の実施	・企画展 （5回、4,772人） ・講演会（1回、41人） ・絵手紙講座 （8回、152人） ・日本画教室 （3回、33人）	

			・子ども鑑賞会・ワークショップ（5回、62人） ・美術館アウトリーチ事業（1回、110人）	

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　子どもを対象とした事業数（件）	目標	基準	56	57	58	59	60
	実績	54	27	51	61	60	
	自己評価		－	－	A	A	
2　高校生以下の俳句投句数（句）	目標	基準	87,630	87,900	88,180	88,460	88,740
	実績	87,080	66,219	52,723	81,047	78,569	
	自己評価		－	－	B	B	
総合評価			－	－	B	B	

自己評価	A:目標達成　B:達成率80％以上　C:達成率70％以上　D:達成率70％未満
総合評価	A：順調に達成している　　B：概ね順調に達成している C：達成に向け課題がある　　D：順調でない

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　子どもを対象とした事業数（件）	事業ごとに工夫を凝らした結果、令和４年度と同事業数実施でき、目標値を達成できた。引き続き、子どもを対象にした事業を企画・実施していく。
2　高校生以下の俳句投句数（句）	今後は、交流句会など、俳句の楽しさを伝えられるよう情報発信に努め、投句数の増加につなげる。

基本目標２	文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　多様な文化芸術等の情報発信

事　　業	計　　画	実　　績
1　文化芸術情報発信事業	市や各種団体が実施する文化芸術の情報の発信	・ＨＰ、広報、情報誌等（203件） ・ＳＮＳ（インスタグラム）による情報発信（10施設）
2　学習館・文化会館管理事業 （指定管理者指定事業）	文化事業団が実施する文化芸術事業の情報の発信	パンフレット、ＨＰ、情報誌等（202件）

基本施策２　文化芸術等の交流機会の充実

事　　業	計　　画	実　　績
1　文化振興一般経費	文化芸術団体が実施する事業への支援	文化フェスティバル等各種団体への補助（10件）
2　バリアフリー･多文化共生事業 （指定管理者指定事業）	外国人や障がいをもった方も一緒に参加できる共生型事業の実施	・バリアフリーコンサート「さ・ま～Kajiiコンサート」（185人）
3　芸術文化振興事業	音楽や芸術に関する事業の実施	・大垣市芸術祭 洋楽（232人） 洋舞（969人） 邦楽・邦舞（350人） 拓本展（82人） 名石展（200人） 市民茶会（237人） 美術展（11,418点） 文芸祭（1,776点）

		・大垣音楽祭 市民団体の部 （18公演、3,183人） ・スプリングコンサート（濵津清仁・安藤莉子ほか） ・墨俣さくら会館応援アーティスト共催コンサート（95人）	
4　俳句文化振興事業 （俳句交流事業）	俳句を通じて他地域や団体間の交流ができる事業の実施	おおがき芭蕉交流句会 （4回、37人）	
5　守屋多々志美術館自主事業	守屋多々志美術館における企画展の開催及び講座の実施	・企画展 （5回、4,772人） ・講演会（1回、41人） ・絵手紙講座 （8回、152人） ・日本画教室 （3回、33人） ・子ども鑑賞会・ワークショップ （5回、62人） ・美術館アウトリーチ事業（1回、110人）	
6　音楽のまち推進事業	芸術文化事業の実施	水嶺湖音楽祭 ・田村響ピアノ公開レッスン （受講生7人、聴講生17人） ・パシフィック・ショーケースin日本昭和音楽村（入場者221人）	

		・室内楽フェスティバル（参加者10組、入場者30人） ・合唱フェスティバル（参加者9組、入場者280人） ・ジャズフェスティバル（参加者10組、入場者：300人） ・ピアノの音楽会～ピアノ弾き込みボランティアコンサート～（参加者9人、入場者120人）	臨時 拡充
7　江口夜詩生誕１２０周年記念事業	江口夜詩の生誕120周年を顕彰し、文化芸術事業の実施	・江口夜詩作曲校歌（上石津町4小学校）保存事業（参加者：上石津町4小学校児童計168人） ・音楽村ジュネンナーレ2023事業（ストリートピアノペイントワークショップ参加者39名、ストリートピアノ「YOSHI PIANO」おひろめセレモニー＆ライブ参加者15人観客数100人、自由演奏タイム参加者8人、江口夜詩似顔絵（塗り絵）展示応募人数46人）	新規

			・寺井尚子ジャズヴァイオリンコンサート事業（入場者211人）	
	8　清流の国ぎふ文化祭推進事業	令和6年度に開催される「清流の国ぎふ文化祭2024」の開催準備	全国文化交流事業大会ポスター作成600枚、県民運動「清流文化地域推し活動」を実施し、大垣の推しとして「水とのせいかつ」を選定	新規

２　指標と目標

指　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　情報発信数（件）	目標	基準	136	144	153	161	170
	実績	119	150	205	206	218	
	自己評価		A	A	A	A	
2　伝統文化親子教室の実施団体数（団体）	目標	基準	20	21	21	22	22
	実績	20	2	13	15	19	
	自己評価		－	－	－	B	
総合評価			－	－	－	B	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　情報発信数（件）	それぞれの催しにつき、広報・チラシ・ホームページ・メールマガジンなど、可能な限り多くの媒体で情報発信したため、情報発信数が増加した。 引き続き、様々な媒体を活用し、情報発信に努める。

指　　標	考　　察
2　伝統文化親子教室の実施団体数（団体）	新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い、教室を開催できる環境が戻ってきたため、実施団体数が回復したと考えられる。 今後は、さらに事業の周知を図り、実施団体数の増加につなげる。

基本目標３	郷土の文化財や伝統文化の保護・継承を通して、ふるさとに愛着と誇りを持てる人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　文化財の保護・活用

事　　業	計　　画	実　　績	
1　文化財保護・活用一般経費	文化財保護団体等への事業補助	指定文化財保護のための補助ほか	
2　指定文化財管理事業	文化財の維持管理	・市天然記念物トネリコ樹勢回復作業 ・美濃国分寺跡の除草作業 ・昼飯大塚古墳の除草作業　ほか	
3　指定文化財営繕事業	指定文化財の営繕	・美濃国分寺跡歴史公園照明灯取替 ・西之川ハリヨ生息地環境整備工事（小段改修）ほか	臨時 臨時
4　文化財保護整備事業	文化財の補修、修復及び所有者が行う指定文化財の管理、補修等への支援	・西高木家陣屋跡主屋屋根の保護補修 ・明星輪寺本堂自動火災報知設備更新ほか	臨時 臨時
5　文化財復旧事業	災害等により き損した文化財の復旧	・船町中組常夜燈解体復旧修理	臨時
6　美濃国分寺跡整備事業	美濃国分寺跡の整備及び活用	・史跡美濃国分寺跡保存整備活用委員会の開催 ・史跡指定地内工事に伴う境界確定測量 ・美濃国分寺ARアプリの提供（ダウンロード数　509件）	臨時

7　文化財調査普及事業	史跡の保護及び活用	・遺跡試掘確認調査（5件） ・昼飯大塚古墳ＡＲアプリの制作 ・矢道ハリヨ調査 ・金生山化石調査	新規
8　郷土･歴史施設管理事業	大垣城、墨俣一夜城、歴史民俗資料館、郷土館、輪中館･輪中生活館、金生山化石館、赤坂歴史文化施設、上石津郷土資料館の管理運営	大垣城、墨俣一夜城、歴史民俗資料館、郷土館、輪中館･輪中生活館、金生山化石館、赤坂歴史文化施設、上石津郷土資料館の管理運営（入館者数：147,975人）	
9　郷土･歴史施設企画事業	郷土・歴史施設における文化遺産等の普及啓発	・プレミアム御城印の作成 ・講演会・講座の実施（31事業、1,032人） ・大垣遺産アプリの提供（ダウンロード数118件）	新規
10 郷土･歴史施設営繕事業	郷土・歴史施設の施設維持のための修理等	・大垣城空調設置工事 ・歴史民俗資料館南棟箱樋防水改修工事ほか	臨時 臨時
11　昼飯大塚古墳関連整備事業	昼飯大塚古墳の整備及び活用	･先行取得した「昼飯大塚古墳歴史公園」隣地の再取得	新規

基本施策２　伝統文化の保護・継承

事　業	計　画	実　績	
1　文化財保護・活用一般経費	文化財保護団体等への事業補助	・青墓大太鼓踊り保存会ほか	

	2　文化財保護整備事業	大垣祭、綾野祭などの保護に関する補助支援	・大垣祭軸の漆金具復元新調事業報告書刊行、軸蔵改修　ほか	

基本施策３　先賢等の顕彰と後世への継承

事　　業	計　　画	実　　績	
1　所蔵美術品整備事業	美術品の収集・管理及び所蔵作品の修復整備	・作品修復（2点） ・収蔵品燻蒸消毒（2回）	
2　守屋多々志美術館美術品整備事業	守屋多々志美術館所蔵・寄託作品の管理及び修復整備	・作品修復（27点） ・収蔵品燻蒸消毒（1回）	
3　奥の細道むすびの地記念館展示事業	企画展等の実施 ・常設展（芭蕉館・先賢館） ・企画展 ・ミュージアム展示ガイド・ポケット学芸員による展示ガイダンス（再掲）	・常設展（17,175人） ・企画展 （3回、8,735人） ・先賢館でのワークシート学習 （小学校　19校）	
4　奥の細道むすびの地記念館企画事業	奥の細道むすびの地記念館に関する講座等を実施	・企画展関連講座 （3回、236人） ・おおがき芭蕉大学 （3回、214人） ・おおがき先賢大学 （3回、158人） ・総合監修者講演会 （1回、 42人） ・植物観察講座 （連続講座　1日目15人、2日目12人）	拡充
5　文化財保護・活用一般経費	文化財保護団体（顕彰）への事業補助	・梁川星巌、皇女和宮、戸田家廟所の保護活動を通じた顕彰（3件）	

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　歴史文化施設利用者数（人）	目標	基準	153,200	155,400	157,700	159,900	162,200
	実績	148,783	77,064	89,498	140,633	147,975	
	自己評価		－	－	B	B	
2　歴史文化施設での企画事業数（件）	目標	基準	25	26	27	28	29
	実績	23	8	18	31	31	
	自己評価		－	－	A	A	
総合評価			－	－	B	B	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　歴史文化施設利用者数（人）	大垣城と墨俣一夜城でプレミアム御城印の販売や各館で工夫を凝らした企画展等を開催したため、歴史文化施設全体として、コロナ禍前の水準に戻りつつあると考えられる。 今後は、さらに各施設の実施事業等の情報発信に努め、利用者数の増加につなげる。
2　歴史文化施設での企画事業数（件）	令和４年度と同事業数実施でき、目標値を達成できた。 引き続き、文化財や伝統文化について学べるよう、歴史文化施設での事業を企画・実施していく。

基本目標４	文化芸術に取り組める環境を整え、いきいきと活動できる人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　文化芸術を生涯楽しめる機会の充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　文化振興一般経費 （再掲）	文化芸術団体が実施する事業への支援	文化フェスティバル等各種団体への補助（10件）	
2　芸術文化振興事業 （再掲）	音楽や芸術に関する事業の実施	・大垣市芸術祭 洋楽（232人） 洋舞（969人） 邦楽・邦舞（350人） 拓本展（82人） 名石展（200人） 市民茶会（237人） 美術展（11,418点） 文芸祭（1,776点）	
		・大垣音楽祭 市民団体の部 （18公演、3,183人） ・スプリングコンサート（濵津清仁・安藤莉子ほか） ・墨俣さくら会館応援アーティスト共催コンサート（95人）	
3　音楽のまち推進事業 （再掲）	芸術文化事業の実施	水嶺湖音楽祭 ・田村響ピアノ公開レッスン （受講生7人、聴講生17人）	

		・パシフィック・ショーケースin日本昭和音楽村（入場者221人） ・室内楽フェスティバル（参加者10組、入場者30人） ・合唱フェスティバル（参加者9組、入場者280人） ・ジャズフェスティバル（参加者10組、入場者：300人） ・ピアノの音楽会～ピアノ弾き込みボランティアコンサート～（参加者9人、入場者120人）	臨時 拡充
4　次世代のクリエーター育成事業 （指定管理者指定事業）	企業連携等による各種体験教室の実施	・水のパビリオン活性化事業（117,884人） ・コスモドームギャラリー常設展（54,762人） ・サイエンス常設展（101,018人）	
5　高齢者いきいきライフ事業 （指定管理者指定事業）	ワークショップの実施	・野村萬斎狂言公演（566人） ・噺劇「気楽な憂さ晴らし」（友麻亜里）（218人） ・夏季企画展「ウルトラとくさつワールド」（15,690人）	

6　俳句文化振興事業 （俳句楽校事業）	生涯にわたり俳句を楽しめる事業の実施	・十六万市民投句 （16,123句） ・芭蕉蛤塚忌（31,060句） ・三尺俳句（4回、8人） ・英語俳句（3回、8人）	
7　守屋多々志美術館自主事業	守屋多々志美術館における企画展の開催及び講座の実施	・企画展 （5回、4,772人） ・講演会（1回、41人） ・絵手紙講座 （8回、152人） ・日本画教室 （3回、33人） ・子ども鑑賞会・ワークショップ （5回、62人） ・美術館アウトリーチ事業 （1回、110人）	

基本施策２　文化芸術活動施設の利用環境の充実

事　業	計　画	実　績	
1　市民会館管理事業	文化芸術施設の管理運営	市民会館の管理運営 （利用者：72,716人）	
2　市民会館解体事業	市民会館の解体設計業務	・市民会館解体設計委託 ・アスベスト含有建材調査委託　ほか	臨時 臨時
3　学習館・文化会館管理 事業	文化芸術事業の実施及び施設の管理運営	学習館・文化会館の管理運営 （利用者：481,112人）	

	4　学習館・文化会館長寿命化事業	文化芸術施設の改修	・学習館南棟・こどもサイエンスプラザ外壁ほか改修 ・立体駐車場改修 ・スイトピアセンター非常放送設備更新　ほか	臨時 臨時 臨時
	5　墨俣さくら会館管理事業	文化芸術施設の管理運営	墨俣さくら会館の管理運営（利用者：29,567人）	
	6　文化施設営繕事業	文化芸術施設の営繕	・学習館空調機中性能フィルター取替 ・スイトピアセンター立体駐車場出口スロープ改修ほか	臨時 臨時
	7　守屋多々志美術館管理事業	文化芸術事業の実施及び施設の管理運営	守屋多々志美術館の管理運営 （利用者：4,772人）	
	8　日本昭和音楽村営繕事業	文化芸術施設の営繕	・日本昭和音楽村屋外ステージインターネット回線設置 ・コテージA棟空調機取替ほか	臨時 臨時

２　指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　市民団体との協働数（件）	目標	基準	70	71	72	73	74
	実績	68	42	55	55	59	
	自己評価		－	－	－	B	
2　文化芸術関係施設利用者数（人）	目標	基準	904,200	905,200	906,200	907,200	908,300
	実績	902,223	260,824	435,156	545,043	624,048	
	自己評価		－	－	－	D	
総合評価			－	－	－	C	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　市民団体との協働数（件）	今後は、文化芸術団体（市民団体）を支援するとともに、施設の環境整備に努め、協働事業数の増加につなげる。
2　文化芸術関係施設利用者数（人）	令和２年度以降の新型コロナウイルス感染症拡大により解散した団体等の利用が減り、回復していないと考えられる。 今後は、文化芸術団体を支援するとともに、施設の事業等の情報発信に努め、利用者数の増加につなげる。

7　図書館活用

基本目標１	読書活動を推進し、夢に向かって挑戦し努力する人づくりをめざします

1　令和5年度事業計画

基本施策１　図書館における読書活動の推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　読書活動推進事業	読書講演会や読み聞かせ会や図書展示等の実施	・読書講演会（まほうねずみのシュッポ） ・文学講座 ・定期的な読み聞かせ（1,151人）

基本施策２　子どもの感性や人間性を育む読書活動の支援

事　　業	計　　画	実　　績
1　読書活動推進事業	園・学校連携事業や図書館見学、留守家庭児童教室への図書貸出し等の実施	・学校見学（延べ10校、346人） ・留守家庭児童教室への貸出（6,851冊） ・小学校2校で「校内図書館まつり」を共催 ・職場体験（3校14人）
2　図書館情報総合管理システム事業	絵本（電子書籍）の提供 （㈱アルファポリスとの協定）	・電子絵本の提供（350冊）
3　ブックスタート事業	親子に絵本や読み聞かせの楽しさと方法を伝えるための事業の実施	・ブックスタートパック配布（1,005人分） ・ブックスタートの読み聞かせ実演

			・乳幼児対象のおはなし会「おひざでだっこ」（1,305人）	

基本施策３　地域における読書活動の推進

事　　業	計　　画	実　　績	
1　読書活動推進事業	地域文庫の設置	地区センター等27か所の地域文庫に本を設置（年に1回程度、本の一部を入替）（10,600冊）	

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　貸出し冊数（冊）	目標	基準	661,100	673,200	685,300	697,400	709,500
	実績	636,749	573,755	700,841	742,194	735,776	
	自己評価		－	A	A	A	
2　児童書の貸出し冊数（冊）	目標	基準	247,800	248,600	249,400	250,200	251,000
	実績	246,125	218,486	281,802	297,827	290,256	
	自己評価		－	A	A	A	
総合評価			－	A	A	A	

自己評価	A:目標達成　B:達成率80％以上　C:達成率70％以上　D:達成率70％未満
総合評価	A：順調に達成している　　B：概ね順調に達成している C：達成に向け課題がある　　D：順調でない

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　貸出し冊数（冊）	昨年度と比べて約 6,400 冊減少しているが、開館日 1 日あたりの貸出し冊数には、大幅な変更はなく、目標は達成している。 今後は、貸出冊数を増加させるため、図書の展示を工夫するとともに、新刊やおすすめ図書、図書館のサービス（商業施設の返却ポストなど）、図書館のイベント等の一層の周知に努める。
2　児童書の貸出し冊数（冊）	昨年度と比べて約 7,500 冊程度減少しているが、開館日 1 日あたりの貸出し冊数には、大幅な変更はなく、目標は達成している。 今後は、貸出冊数を増加させるため、子ども向けの講座やイベントなどの充実・周知に努める。

基本目標２	図書館サービスを充実し、多様化する社会を心豊かに生きる人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　多様なサービスの推進

事　　業	計　　画	実　　績
1　図書館情報総合管理システム事業	ＩＣＴを活用した効率的な貸出	・予約、リクエストサービス（117,714冊） ・相互貸借サービス（貸出809冊、貸受2,032冊） ・各種カードを利用した貸出し ① Felica（新規登録４件） ②マイナンバーカード（新規登録25件） ・スマートフォンを利用した貸出し
2　読書活動推進事業	読書記録の推進	・読書手帳（135冊） ・読書ノート（102冊） ・読書メーター（読書記録 Web サービス）との連携

基本施策２　積極的な情報発信

事　　業	計　　画	実　　績
1　読書活動推進事業	広報誌の発行	・各広報誌を配布（発行号あたり 850 部）

	①　『大垣市図書館だより』（毎月発行） ②　新着案内『本の泉』（毎月発行） ③　児童図書新着案内『ポケット』（毎月発行） ④　YA（ヤングアダルト）通信『むすび』（季刊発行） ⑤　お薦め絵本紹介『ぶっくんつうしん』（季刊発行） ⑥　「郷土資料室便り」（季刊発行） ・図書館ホームページ、デジタルサイネージ（随時）	
	ＳＮＳを活用した情報発信（随時）	・大垣市図書館のＦａｃｅｂｏｏｋ、Ｉｎｓｔａｇｒａｍによる各種行事等の情報発信	

基本施策３　デジタル資料・情報の充実

事　業	計　画	実　績	
1　図書整備事業	データベース閲覧サービスの提供	・官報情報検索サービス ・新聞記事データベース（毎日、中日、	

			岐阜） ・国会図書館デジタル化資料送信サービス	
	2　図書館情報総合管理システム事業	電子書籍の提供	・電子書籍の公開（210件） ・電子絵本の提供（350冊）（再掲）	

基本施策４　サービス拠点の充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　読書活動推進事業	予約図書配本サービスの実施	地区センターや市民サービスセンター等20か所へ配本 ・配本件数（10,377件） ・配本冊数（21，837冊）	
	大垣駅北市民サービスセンターにおける図書返却ポストの設置	返却冊数9,846冊	

２　指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　図書館ホームページアクセス件数（件）	目標	基準	205,000	206,000	207,000	208,000	209,000
	実績	203,000	250,643	282,470	259,720	262,634	
	自己評価		A	A	A	A	
2　外国人利用登録者数（人）	目標	基準	1,091	1,119	1,146	1,173	1,200
	実績	1,037	1,043	1,034	1,051	1,036	
	自己評価		－	B	B	B	

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
3　予約図書の配本冊数（冊）	目標	基準	21,400	21,800	22,200	22,600	23,000
	実績	20,518	20,582	21,991	21,918	21,837	
	自己評価		－	A	B	B	
総合評価			－	A	B	B	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　図書館ホームページアクセス件数（件）	昨年度と比べて約 2,900 件アクセス数が増えており、目標は達成している。 今後も、ホームページの内容を見直すなど、魅力的な情報発信を行う。
2　外国人利用登録者数（人）	昨年度と比べて 15 人減少し、目標は達成しなかった。 今後も、外国人利用者の方にとっても利用しやすい図書館づくりを進めるとともに、大垣国際交流協会と連携し、外国語の利用案内の配布方法を工夫するなど、登録者数の増加に努める。
3　予約図書の配本冊数（冊）	昨年度と比べて約 80 冊減少し、目標は達成しなかった。 今後も、配本制度の一層の周知に努める。

基本目標３	郷土資料の活用を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします

1　令和5年度事業計画

基本施策１　郷土資料の収集・整備

事　　業	計　　画	実　　績	
1　郷土資料整備事業	郷土に関する資料・情報を体系的に整理し、デジタルデータとして整備	冊子を刊行 ・大垣市史資料集『藤渠漫筆』第10集 ・『大垣市史 通史編 近現代』収集写真目録(5) ・郷土資料目録 第43集	

基本施策２　郷土資料の公開・活用

事　　業	計　　画	実　　績	
1　郷土資料活用事業	デジタル化した古文書・古地図・古写真などの郷土の歴史資料を展示・公開	古地図レプリカ資料等を出前講座（14回）や上石津・墨俣図書館（「家康といくさ」展）での展示に活用	

基本施策３　郷土を学ぶ機会の提供

事　　業	計　　画	実　　績	
1　ふるさと大垣学習事業	出前講座や歴史講座などの開催	・学ぶ大垣講座 （8回、会場293人、オンライン177人） ・ふるさと古文書講座 （10回、会場437人、オンライン202人） ・特別講座「徳川家康と大垣」（1回、会場250人、オンライン15人）	新規 臨時

2　指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　ふるさと歴史講座参加者数（人）	目標	基準	1,080	1,088	1,095	1,103	1,110
	実績	1,065	443	580	1,458	1,109	
	自己評価		－	－	A	A	
2　郷土資料デジタルライブラリー閲覧件数（件）	目標	基準	1,480	1,570	1,660	1,750	1,840
	実績	1,300	1,845	1,864	1,850	1,793	
	自己評価		A	A	A	A	
総合評価			－	－	A	A	

【評価に関する考察】

指　標	考　察
1　ふるさと歴史講座参加者数（人）	昨年度と比べて、約 350 人減少したが、目標は達成している。 今後も、初心者向けの講座を開催するなど、より多くの人に参加いただけるよう努める。
2　郷土資料デジタルライブラリー閲覧件数（件）	昨年度と比べて、約 60 件減少したが、目標は達成している。 今後も、内容の充実や周知に努める。

基本目標４	魅力ある資料や情報を提供し、かがやき続ける人づくりをめざします

1　令和5年度事業計画

基本施策１　魅力ある資料の収集・充実

事　　業	計　　画	実　　績
1　図書整備事業	幅広い分野の資料収集	図書購入（12,151冊）

基本施策２　レファレンスサービスの充実

事　　業	計　　画	実　　績
1　図書館情報総合管理システム事業	調べもの案内や、資料・情報探しの補助を行うレファレンスサービスの実施	レファレンスデータベースの公開（268件）

基本施策３　市民と共に行う図書館運営

事　　業	計　　画	実　　績
1　図書館一般経費	図書館運営に関する意見聴取	・利用者アンケートの実施（517人回答） ・図書館協議会（2回）

基本施策４　施設・設備の整備

事　　業	計　　画	実　　績
1　読書活動推進事業	図書館サービスや行事などを効果的にＰＲ	デジタルサイネージに展示や行事を掲載
2　図書館管理事業	大垣市立図書館施設の管理運営	大垣市立図書館施設の管理運営（入館者：279,504人） 墨俣図書館施設の管理運営 （入館者：14,192人）
3　上石津図書館管理事業	上石津図書館施設の管理運営	上石津図書館施設の管理運営 （入館者：7,821人）

	4　図書館営繕事業	図書館施設の営繕	大垣市立図書館電動移動書庫修繕ほか	臨時
	5　図書館施設長寿命化事業	図書館施設の改修	大垣市立図書館エレベータ等改修工事	臨時

2　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　図書館利用目的達成度（%）	目標	基準	91.8	92.4	92.9	93.5	94.0
	実績	90.7	92.2	90.5	93.3	94.0	
	自己評価		A	B	A	A	
2　生活関連資料の貸出し冊数（冊）	目標	基準	180,900	184,500	188,100	191,700	195,300
	実績	173,209	153,186	180,737	197,395	196,356	
	自己評価		－	B	A	A	
総合評価			－	B	A	A	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　図書館利用目的達成度（%）	今後も利用者のニーズを把握し、より利用目的達成度が高くなるよう努める。
2　生活関連資料の貸出し冊数（冊）	昨年度と比べて、約1,000冊減少しているが、開館日1日あたりの貸出し冊数には、大幅な変更はなく、目標は達成している。 今後も、多くの市民に関心を持ってもらえるよう、魅力ある資料の収集・充実を図るとともに、図書の展示方法を工夫するなど、貸出し冊数の増加に努める。

８　スポーツ推進

基本目標１	スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　子どものスポーツ活動のきっかけづくり

事　　業	計　　画	実　　績
1　コミュニティスポーツ振興事業 （指定管理者指定事業）	子どもが参加できるスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会（15,000人） ・ＯＧＡＫＩスポーツフェスティバル（980人）
2　コミュニティスポーツ振興事業 （指定管理者指定事業）	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援	・地域コミュニティスポーツ活動（63回、2,965人） ・ヘルシーウォーク（177回、5,571人） ・軽スポーツイベント（2回、144人）
3　体育施設管理事業 （指定管理者指定事業）	幼児を含む子どもを対象にしたスポーツ教室の開催	・おおがきっずスポーツスクール（235人） ・おおがきっずスポーツスクール3-6年生コース（47人） ・垣っ子ひろば（80人） ・わんぱく体操（親子56人） ・お父さんといっしょ（69人）

基本施策２　少年期のスポーツ活動の充実

事　　業	計　　画	実　　績
1　少年スポーツ賞授与事業	優秀な成績を収めた児童生徒に対する少年スポーツ賞の授与	・栄誉賞 団体5件、個人5人 ・優秀賞 団体22件、個人25人 ・奨励賞 団体3件、個人14人
2　少年スポーツ活動推進事業	スポーツ少年団の活動への支援	サッカー、剣道、健民など（22種目、74団体）

基本施策３　選手の育成・支援

事　　業	計　　画	実　　績
1　スポーツ大会等出場激励事業	全国大会等に出場する選手等への激励金の交付	激励金交付（336件：個人304人、団体32件）
2　スポーツ団体育成事業	体育連盟加盟団体のジュニア選手強化に対する支援	陸上競技協会、水泳連盟など （23競技種目団体）

基本施策４　競技団体の活動支援

事　　業	計　　画	実　　績
1　スポーツ団体育成事業	体育連盟加盟団体の活動に対する支援	加盟団体の競技力向上のため育成、強化支援 （40加盟団体）

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　小中学生スポーツ活動実施率（%）	目標	基準	63.0	63.5	64.0	64.5	65.0
	実績	62.1	63.8	64.3	65.0	66.4	
	自己評価		A	A	A	A	
2　全国・国際大会等への出場者数（件）	目標	基準	316	317	318	319	320
	実績	315	33	156	227	336	
	自己評価		－	－	C	A	
総合評価			－	－	B	A	

自己評価	A:目標達成　B:達成率80%以上　C:達成率70%以上　D:達成率70%未満
総合評価	A：順調に達成している　　B：概ね順調に達成している C：達成に向け課題がある　　D：順調でない

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　小中学生スポーツ活動実施率（%）	小中学生へのアンケートの結果、スポーツへの意識が高まっていると思われる。
2　全国・国際大会等への出場者数（件）	令和５年度は、競技団体へ強化費の支援や、優先的な施設利用による、強化活動に力を入れることができ、ポイントを上げた。また、多くの大会が開催され、出場の機会が増えたことが考えられる。

基本目標２	スポーツを通した交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　スポーツをささえる担い手づくり

事　　業	計　　画	実　　績	
1　スポーツ団体育成事業	体育連盟加盟団体の活動に対する支援	体育連盟加盟団体活動支援 県民スポーツ大会に出場した競技種目数（39種目） 競技人数（591人）	
2　少年スポーツ活動推進事業	スポーツ少年団の指導者育成に対する支援 体育・スポーツ指導者に対する研修会や講習会等の開催	日本スポーツ協会公認資格取得事業補助（54人）	

基本施策２　スポーツ交流の実施

事　　業	計　　画	実　　績	
1　国際スポーツ交流推進事業	フレンドリーシティとの交流の実施・支援	・韓国　昌原市との青少年スポーツ相互交流事業 ・ドイツ　シュツットガルト市との青少年・指導者スポーツ交流事業	中止
2　スポーツイベント推進事業	ＭＡＧ-ＣＵＰ少年サッカー交流大会への支援	市内2チームに参加 大会開催負担金を支出	

基本施策３　競技団体による競技大会開催等への支援

事　　業	計　　画	実　　績	
1　スポーツ団体育成事業（再掲）	体育連盟加盟団体の活動に対する支援	県民スポーツ大会に出場する選手強化に対	

			する支援 （39競技種目団体）	
	2　スポーツイベント推進事業	各種競技団体等による競技大会の開催に対する支援	・ベーブルース杯社会人野球大会、水の都杯9人制バレーボール選抜優勝大会、県中学校選抜軟式野球大会、市民登山大会ほか ・全国高校サッカー選抜大垣大会、西濃綱引選手権大会ほか	

２　指標と目標

指標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数（人）※目標値及び実績値は、毎年度の累計値です。	目標	基準	42	84	126	168	200
	実績	－	74	122	159	213	
	自己評価		A	A	A	A	
2　県民スポーツ大会での総合優勝の継続（位） 【自己評価】 A：1位　B：2位 C：3位　D：4位以下	目標	基準	1	1	1	1	1
	実績	1	中止	中止	1	1	
	自己評価		－	－	A	A	
総合評価			－	－	A	A	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数（人）	教育委員会や体育連盟から、部活動の地域移行もふまえて競技団体へ積極的な周知を行い、大幅に登録者数が増加した。資格取得に係る費用の半額補助も有効であると思われ、今後も継続して行っていく。
2　県民スポーツ大会での総合優勝の継続（位）	練習場所の無料開放や、参加費・交通費の援助等、各競技団体に対する支援が有効であると思われる。

基本目標３	地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　地域スポーツ活動への支援

事　　業	計　　画	実　　績
1　コミュニティスポーツ振興事業 （指定管理者指定事業）	地域ぐるみで参加できるスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会（15,000人） ・ＯＧＡＫＩスポーツフェスティバル（980人）
2　コミュニティスポーツ振興事業	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援（再掲）	・地域コミュニティスポーツ活動（63回、2,965人） ・ヘルシーウォーク（177回、5,571人） ・軽スポーツイベント（2回、144人）
（指定管理者指定事業）	地域スポーツクラブの設立に向けた支援	宇留生地区（令和4年度～5年度）

基本施策２　関係団体との連携充実

事　　業	計　　画	実　　績
1　スポーツ団体育成事業	体育連盟加盟団体の活動に対する支援	加盟団体の競技力向上のため育成、強化支援（40加盟団体）
2　スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動（研究大会、研修会等参加）に対する支援	スポーツ推進活動に対する支援（63人） コミュニティスポーツ活動普及のためモルックの研修会を実施

基本施策３　広報活動の充実				
	事　　業	計　　画	実　　績	
	1　体育施設管理事業 （指定管理者指定事業）	体育施設の管理運営	スポーツ教室など ＨＰに掲載	

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　コミュニティスポーツ参加者数（人）	目標	基準	12,920	12,990	13,060	13,130	13,200
	実績	12,781	2,478	3,702	7,219	8,680	
	自己評価		－	－	－	D	
2　意識的に運動（週1回以上）している人の割合（%）	目標	基準	43.6	44.7	45.8	46.9	48.0
	実績	41.6	50.1	51.2	51.3	51.8	
	自己評価		A	A	A	A	
総合評価			－	－	－	C	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　コミュニティスポーツ参加者数（人）	コロナ禍を機に、実施回数が減っており、地域のニーズ、状況に合わせて内容の見直しを図っていく。 安井地区の「安井スポーツＤＡＹ」のような取組を、他の地域に情報提供していく。
2　意識的に運動（週１回以上）している人の割合（%）	18歳以上の市民へのアンケートの結果、運動への意識が高まっていると思われる。

基本目標４	スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします

１　令和５年度事業計画

基本施策１　スポーツの楽しさを知る機会の提供

事　　業	計　　画	実　　績
1　コミュニティスポーツ振興事業 （指定管理者指定事業）	体を動かすことの楽しさを知る機会を提供するスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会 （15,000人） ・ＯＧＡＫＩスポーツフェスティバル （980人）
2　　コミュニティスポーツ振興事業（再掲） （指定管理者指定事業）	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援	・地域コミュニティスポーツ活動 （63回、2,965人） ・ヘルシーウォーク （177回、5,571人） ・軽スポーツイベント （2回、144人）

基本施策２　誰もがスポーツに参加できる機会づくり

事　　業	計　　画	実　　績
1　コミュニティスポーツ振興事業 （指定管理者指定事業）	誰もがスポーツに参加できる機会を提供するスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会 （15,000人） ・ＯＧＡＫＩスポーツフェスティバル（980人）
2　　コミュニティスポーツ振興事業（再掲） （指定管理者指定事業）	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援	・地域コミュニティスポーツ活動 （63回、2,965人） ・ヘルシーウォーク （177回、5,571人） ・コミュニティスポーツ活動普及のためモルックの研修会を実施

基本施策３　スポーツ習慣の継続と定着

事　　業	計　　画	実　　績
1　体育施設管理事業 （指定管理者指定事業）	スポーツ教室の充実	スポーツ教室の実施 （130 教室、3,534 人）
2　学校体育施設開放事業	身近なスポーツ活動の場としての、小中学校等の体育館やグラウンドの開放	小中学校等の体育館やグラウンドの開放 （17,217件）

基本施策４　高齢者や障がいのある人のスポーツ活動の普及

事　　業	計　　画	実　　績
1　コミュニティスポーツ振興事業 （指定管理者指定事業）	高齢者や障がいのある人が参加できるスポーツ大会・イベントの開催	・市民総合体育大会（グラウンドゴルフ18校区、144人） ・ＯＧＡＫＩスポーツフェスティバル（理学療法士による健康相談会、体力測定） ・ＯＧＡＫＩスポーツフェスティバル（障がい者スポーツのＰＲコーナー）
2　　コミュニティスポーツ振興事業（再掲） （指定管理者指定事業）	地域コミュニティスポーツ活動、ヘルシーウォーク、スポーツイベント等開催に対する支援	・地域コミュニティスポーツ活動 （63回、2,965人） ・ヘルシーウォーク （177回、5,571人） ・コミュニティスポーツ活動普及のためモルックの研修会を実施
3　スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動に対する支援	スポーツ推進委員モルック研修会 （32人）

	4　スポーツイベント推進事業	各種競技団体等による競技大会の開催に対する支援	・市長杯争奪グラウンドゴルフ大会 ・奥の細道シニアソフトテニス大会 ・市長杯争奪ゲートボール大会	

基本施策５　体育施設の整備・充実

事　　業	計　　画	実　　績	
1　体育施設管理一般経費	体育施設の維持管理	総合体育館、大垣市武道館、大垣城ホールほか14施設の維持運営 （利用者：793,419人）	
2　体育施設管理事業 (指定管理者指定事業)	体育施設の管理運営	総合体育館、大垣市武道館、大垣城ホールほか14施設の管理運営	
3　体育施設営繕事業	体育施設の営繕	・北公園野球場防球ネット張替工事 ・市民プールウォータースライダー修繕工事　　ほか	臨時 臨時
4　体育施設長寿命化事業	体育施設の営繕	武道館吸収冷凍機整備工事　　ほか	臨時
5　学校体育施設営繕事業	学校体育施設の営繕	日新小学校体育館照明取替　　ほか	

２　指標と目標

指　　標	年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1　スポーツ教室への参加者数（人）	目標	基準	5,224	5,243	5,262	5,281	5,300
	実績	5,186	2,292	3,525	3,936	4,845	
	自己評価		－	－	－	B	
2　体育施設の利用者数(学校体育施設を含む)（人）	目標	基準	1,411,440	1,417,455	1,423,470	1,429,485	1,435,500
	実績	1,399,410	683,500	832,208	1,163,377	1,297,185	
	自己評価		－	－	B	B	
総合評価			－	－	－	B	

【評価に関する考察】

指　　標	考　　察
1　スポーツ教室への参加者数（人）	目標には達しないものの、参加者数は増加傾向にあり、今後も、ニーズに合わせた教室や、ターゲット世代を絞った教室の開講を検討していく。
2　体育施設の利用者数(学校体育施設を含む）（人）	コロナ禍で施設を閉鎖していたため、利用者数が減少していたが、今後は増加が見込まれる。 武道館の一部を改修した多目的ホールについては、さらなる利用促進を図っていく。

９　大垣市教育委員会の活動状況について

１　教育委員

職名	氏名	任期
教育長	細江　　敦	令和 4年12月13日～令和 7年12月12日
委 員 （教育長職務代理者）	河合　保孝	令和 4年12月18日～令和 8年12月17日
委 員	堀　　哲也	令和 5年 6月26日～令和 9年 6月25日
委員	沼口　　諭	令和 5年 6月 5日～令和 6年10月16日
委 員	松岡　敦子	令和 3年10月26日～令和 7年10月25日

２　開催概要

⑴　開催回数　　定例　12回、臨時　5回

⑵　審議件数　　議案　72件、専決　1件、報告　71件

⑶　研修等参加回数　　6回

①　市町村教育委員会連合会定期総会

②　西濃地区教育委員会連絡協議会総会及び教育委員会研修会

③　市町村教育委員会研究協議会

1）学校における働き方改革について（令和5年6月29日）

2）部活動のあり方について（令和5年7月28日）

④　西濃地区教育長及び教育長職務代理者研修視察

⑤　岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会

⑷　教育施設視察回数　2回

①　中川小学校　　（令和5年11月29日）

②　北中学校　　（令和5年12月20日）

※大垣市歴史民俗資料館を視察予定であったが、大雪警報のため中止
（令和6年1月24日）

３　成　　果

⑴　議案については、審議のうえ、適正に議決しました。

⑵　大垣市教育委員会の取り組みや、現在課題となっている事案について、事務局主催の研修会により、教育行政に関する理解を深めました。

⑶　学校2校の視察を行い、授業参観や児童生徒と意見交換するなど、学校教育に関する理解を深めました。

４　課　　題

⑴　今後とも、議案については適正に審議、議決を行っていくとともに、教育委員会の現在の課題について理解を深め、事務局と意見交換をしていく必要があります。

⑵　引き続き、教育施設や学校の視察や、現場職員や児童生徒と意見交換を行い、現状についてより理解を深めます。

10　大垣市教育振興基本計画評価委員会の審議結果について

⑴　評価委員

委 員 長　　長谷川　哲也

副委員長　　田村　弘司

区　分	氏　名	備　考
学識経験者	長谷川　哲　也	岐阜大学教育学部准教授
学識経験者	井　上　　瞳	愛知学院大学文学部歴史学科准教授
学識経験者	田　村　弘　司	大垣市図書館協議会会長
教育活動関係者	吉　田　秀　慈	大垣市小中校長会会長 （西中学校長）
教育活動関係者	佐　野　　篤	大垣市社会教育委員の会議長
教育活動関係者	三　代　広　子	大垣市子ども会育成連絡協議会会長
教育活動関係者	川　合　麻　美	(公財)大垣市体育連盟 生涯スポーツ振興委員会委員長
市民公募委員	内　藤　正　信	

⑵　開催経過

①　第１回会議

１　と　き　　令和６年７月 24 日（水）　9:30～11:30

２　ところ　　大垣市役所６階　6-3、6-4 会議室

３　議　題　　⑴　大垣市第２次教育振興基本計画等について

⑵　社会教育について

⑶　文化振興について

⑷　図書館活用について

⑸　令和６年度の目標値の変更について

４　出席者　　８人

５　傍聴者　　２人

②　第２回会議

１　と　き　　令和６年７月25日（木）　9:30～11:15

２　ところ　　大垣市役所６階　6-3、6-4会議室

３　議　題　　⑴　学校教育について

⑵　スポーツ推進について

４　出席者　　７人

５　傍聴者　　２人

⑶　評価委員会での主な意見等

・コロナ禍を経て、実績は回復傾向にあるが、今後は、ニーズ調査を活用し、人々の価値観がどのように変化したのかを把握した上で、事業実施することが大切である。

・民と教育行政の連携は重要だが、市がどこまでを担うべきかを考えなければいけない。それが弱者救済であるとするならば、高齢者や障がい者等に支援が届くようにすることを検討するべきである。

・他市町村と比べても、大垣市は、教育に力を入れてしっかりとやっていると感じる。もっとＰＲをするべきではないか。

・今年度の計画改定において、量的な指標だけでなく、満足度など質的な指標もバランス良く取り入れて、評価・検証していくことが必要だと考える。

大垣市第２次教育振興基本計画　分野別振興計画

令和５年度実施状況報告書

令和６年９月

発行　岐阜県大垣市教育委員会
編集　事務局庶務課
岐阜県大垣市丸の内 2 丁目 29 番地
電話　(0584)47-8022